

新たな仲間との取組に向け 組織化対策会議で組織態勢の強化を確認

林野労組九州

発行所 熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合九州地方本部
電話 096-354-1150
発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

当面の行動

- 3月1日 森林労連全国代表者会議
- 3月6日 分会代表者会議 (Web)
- 3月7日 共済組合運営委員会
- 3月8日 国公連合九州人事院交渉
- 3月13日 地本執行委員会

2024年2月21日に「組織化対策会議」がWeb会議で開催され、九州地本からは古村書記長、加来執行委員（組織担当）木下青年女性委員（中央青年女性委員会副委員長）が参加しました。本会議は2023年度から開催され、今回で2回目の開催となり、全国から28名が参加しました。



九州での取り組みを全体で共有



Webにより結果

冒頭、中央本部の山田副委員長より「昨年に引き続き、組織化を強化していきたい。財政事情も厳しい情勢となっている中で、継続して次年度新規採用者の加入に向け対策を行っていく必要がある。高尾にある森林総合研修所で今年度の新規採用者に説明会を実施してきた。時間が空けば対策が難しくなるため、次年度の新規採用者においては早期の対策をお願いしたい」と挨拶がありました。

その後、議事により進められ各地本から2023年度新規採用者の組織化に向けた取組状況について報告を行いました。取組状況としては「統一行動日等を設定して加入の取組を行った」「歓迎会を開催した」「昼休みに昼食を用意して懇親を深めた」「パンフレットを活用し、活動の必要性を周知してきた」等の取組が報告されました。その一方で「新採研修で早期に対応する事が難しかった」「アンケートを実施しながら対策を行っていく必要がある」といった、今後に向けて改善しながら取組んでいかなければならぬ課題も全体で共有する事が出

ま、次年度の新規採用者用に新たにパンフレットが作成され、全体で確認していきま。また、「労働組合とは？」といったページから、労働基本権について分かりやすく記載されているページ、先輩組合員の活動状況や、これまで組合が解決してきた課題など様々な記載がされています。その他にも「新入組合員の声」として、今年度採用の組合員のコメントや顔写真を紹介されています。採用が1つ上の先輩組合員の言葉は、就職したばかりで右も左も分からない新規採用者にとっては、大変心強い言葉となっており、これらの内容を様々な工夫を行いながらパンフレットは毎年更新されています。会議の中で、説明を行う際に「組合に入っているメリットは何か」と聞かれる事があるという報告が挙がっています。パンフレットにも記載しているとおり

りでありませんが、これまで様々な問題や課題に対して、下部段階から要求を積み上げ、改善に向けて交渉を進めてきました。すぐに解決出来る問題はそれほど多くはなく、ほとんどの問題が時間が掛かってしまうため「一気に問題が改善した」という実感はないと思いますが、少

本部オルグで中央・地本・分会が一枚岩に 中央副執行委員長によるオルグ



連携強化に向けた挨拶をする山田副委員長

2月5日から2月8日にかけて、林野労組中央本部オルグが実施され、九州地本は中央本部の山田副執行委員長のオルグを受けました。今回の本部オルグは局分会、都城分会の本署と現場班の2箇所、佐賀分会、福岡分会の行程で実施されました。

オルグの冒頭、山田副委員長からは「まずは元日に発生した能登半島地震により被災された方にお見舞い申し上げます。春闘方針等を全体で共有し、今後の意思統一を図りたい」との挨拶がありました。その後春闘方針（案）に基づいて説明があり、国内経済情勢、

2024年新賃金及び「2024新賃金に関する要求」、人事院勧告等に係る取組について、国有林野事業の推進について、事業予定及び業務運営関連課題に係る取組について、闘う組織態勢の確立に向けた取組、組織化対策についてなど、様々な取組や、今後に向けての方針、問題点などの話を共有する事が出来ました。分会からは「事業量は増えていくが、人員は減少している」「事業体も高齢化が進んでいるため対策が必要ではないか」「伐採系の事業も年々奥地化しており、厳しい条件となっている」「国有林野事業の債務返済を見直し、早期の解消に向けて取り組んでもらいたい」といった質問や意見等が出されました。オルグの中で話があった、人事院勧告等に掛かる取組の中で「国家公務員等の旅費制度の改正について」の話が出されましたが、制度の改正により①日額

旅費の規定廃止②日当は宿泊を伴う出張のみ支給等の考え方が示されているとの情報がありました。改正となれば、意見でも出されているとおり、業務量増加や人員の減少等で厳しい労働条件となっている中で、更に賃金の低下となってしまう。これ以上の労働条件の悪化を防ぐため、今後も引き続き取組を進めていくとの話がありました。また、春闘期等に行われる公務労協主催の集会等では全国統一行動日を設定し、「2024春季生活闘争の賃金・労働条件に関する統一要求」の実現に向け、各種行動に取り組んでいくとの方針も報告されました。今後も公務労協・国公関係部会及び公務員連絡会との連携強化が重要であり、連合等の諸行動に参加しながら官民共闘、中小共闘を強め、2024春季生活闘争の前進を図る事として全体で共有し、全日程を終了しました。

匠の腕

「宮崎春闘総決起集会」

(撮影者 鶴山喜之：西都児湯分会)



「匠の一言」
仲間たちとともに闘おう！



早いものでもう3月。すぐに新年度を迎えるこの時期はプロ野球が開幕する。年度が変わる実感がそこで湧いてくる▼昨年のプロ野球は阪神が38年振りに日本一となった。これまでも惜しい事はあり、紙一重だった年も。就任一年目の岡監督はその紙一重の部分を見つけ改善し、優勝した事は大変難しい事だったろう▼トップが変わり、問題点を改善出来れば大きな躍進があると証明されてきた。政治のトップはこれを見習ってもらいたいものだ。▼最初から問題を解決するつもりがないのか、まさか問題点が分かっているのに訳ではあるまい。「なぜ良くなるならん」と思っているならばそんな事も分らないのだからか、代わりに私が教えて差し上げよう。えー……あの……まあその……つまり……「アレ」だ。(SUKIE)

将来展望等の議論を積み重ね

希望のある未来に向け各種課題改善へ

2024春闘学習交流集会



全分会から結集!

会より近畿中国地本の山名青年女性委員長が来賓として参加され、他地本の活動や取組などを交えて挨拶を受けました。



他地本の取組を話す山名中央青女委員長



全体で実態等を共有

の「見直し」「看護休暇の対象年齢拡大、日数の増加」「昇格基準の緩和」「要員要求、内示の早期化」など様々な分野の意見が出されました。



積み上げた意見を当局へ!

握をし、すぐ対応できるものに対応していきたいと回答が得られました。



青年女性全体で一枚岩となる

は山積しており今後においても引き続き生活・職場から抱く不安や思いを共有し、問題解決に向け全体で戦い続けることを確認し、山形委員長の団結ガンパローにて閉会しました。

あの人とあの人

「環境省からのス〇イ!? 森林管理署色に染まる」

迫 裕樹さん(屋久島分会)



屋久島に来たら会いに来て下さい!

今回、屋久島分会からは迫裕樹さんを紹介! 迫さんはNHK大河ドラマ「篤姫」の撮影地として有名な鹿児島県指宿市出身(今年34歳)です。環境省と林野庁の連携事業の一環として、昨年の4月から遠路はるばる東京から屋久島に来られました。環境省では、石川県白山市などで自然保護官として国立公園の保護・管理、本省での業務を経験されました。去年の3月、屋久島署では「環境省からス〇イが来るぞ」という噂で盛り上がり、戦々恐々としていたようです(笑)。しかし、持ち前の明るさ(サツキ)よりもおしゃべりで、冗談交じりのトーク力です。今ではすっかり署内にとけこみ、業務グループ森林整備官(育成)の担当としてシカの捕獲やマツくい虫の防除、ふ

京から屋久島に来られました。環境省では、石川県白山市などで自然保護官として国立公園の保護・管理、本省での業務を経験されました。去年の3月、屋久島署では「環境省からス〇イが来るぞ」という噂で盛り上がり、戦々恐々としていたようです(笑)。しかし、持ち前の明るさ(サツキ)よりもおしゃべりで、冗談交じりのトーク力です。今ではすっかり署内にとけこみ、業務グループ森林整備官(育成)の担当としてシカの捕獲やマツくい虫の防除、ふ

(末崎通信員・屋久島署分会)

冒頭、山形青年女性委員長より、「本集会有意義なものになるよう活発な発言をお願いしたい」と挨拶がありました。続いて、加藤九州地本執行委員長より私たちを取り巻く情勢や組織強化についての挨拶を賜りました。また、中央青年女性委員

駅伝で結集!

春闘勝利へタスキをつなぐ

【後藤通信員・熊本南部分会】

去る2月3日、連合人吉・球磨地域協議会が主催である「2024春季生活闘争勝利」第32回産別対抗駅伝大会が錦町民グラウンド外周にて開催し、参加産別関係者、家族等約100名が集いました。前日から朝方まで降っていた雨も次第にやみ、開会にあたり吉村議長より、「2024春季生活闘争・第50回衆議院選挙勝利」に

「賃金のベースアップ、各種手当の支給条件緩和」「休暇制度の団結を図り親睦を深め、有意義な一日として下さい」と挨拶があり、10時スタートとなりました。全長9.6kmの6区間を参加者たちはタスキを繋ぎ、完走めざして汗を流しました。優勝したあさぎりAチームは2連覇、準優勝は同あさぎり町職員で、3月5日に阿蘇農村公園で行われる本大会へ出場することとなりました。人吉球磨の力を発揮してくれるのだと確信し、約2時間の駅伝大会は怪我等もなく無事に終えました。

雨降って地固まる! 700名が結集

連合熊本2024春闘総決起集会



【内海通信員・局分会】

2月22日に連合熊本が主催である「2024春季生活闘争勝

利! 総決起集会! が熊本市中心区の辛島公園で開催されました。あいにくの雨の中、各産別労働組合から約700名が集結し、森林労連(局分会)4名が参加しました。冒頭に連合熊本熊本西副

会長より「昨年は30年ぶりとされる高い水準の賃上げが実現した。が、今後も持続的な賃上げを確



実なものにしていくことが絶対に必要である。」と挨拶がありました。続いて、2024春季生活闘争の情勢報告を連合熊本山本事務局長より受け、自動車総連及び運輸労連より力強い闘争勝利に向けた決意表明がありました。

また、来るべき第50回衆議院議員選挙勝利に向けて、連合熊本推薦候補予定者の紹介と決意表明があり、集会アピールが提案され採択されました。最後に連合熊本西副会長による団結ガンパローで集会は閉会しました。

鹿児島市で結集! 青年女性鹿児島ブロック交流会

【西上通信員・鹿児島分会】



若手組合員とも議論を深め署長会見へ

去る12月9日、青年女性鹿児島

島ブロック交流会を4年ぶりに開催しました。今回は鹿児島分会において企画立案し、計15名(北薩4、大隅5、鹿児島6)が鹿児島市に集結しました。まずは九州労働金庫より2名の講師に来ていただきライフプラン・資産形成・ローンについてなど若手組合員には今後大変参考になるお話をいただきました。

その後の分散会では各分会目

前に迫っている署長会見に向けて、各署の実態や取組と要求項目について共有し、特に採用間もないメンバーにとっては他署についても知れる良い機会となりました。場所を移し、分会対抗のチーム戦を行ったボウリング、そして大都会鹿児島市の中心街、天文館で焼肉を食べ、ブロックの交流を深める事ができました。



(教官担当)